ゆ

●緑色は別名

《目次》 1
ユーコミス 2
ユーストマ 3
ユーパトリウム 4
ユーパトリウム・ルゴスム 5
ユーフォルビア・カラキアス 6
ユーフォルビア・キパリッシアス 7
ユーフォルビア・カラキアス・ブラックパール 8
ユーフォルビア・ダイアモンドスター 9
ユーフォルビア・ダイアモンドフロスト 10
ユーフォルビア・マルティニー 11
ユーフォルビア・ミルシニテス 12
ユウガギク 13
ユウスゲ 14
ユキアザミ 15
ユキザサ 16
ユキツバキ 17
ユキノシタ 18
ユキモチソウ 19
ユキヤナギ 20
ユキワリソウ 21
ユキワリソウ（園芸品種） 22
ユスラウメ 23
ユズリハ 24
ユッカ 25
ユリ 26
ユリオプスダージー 27
ユリノキ 28
ユリワサビ 29

【花期 7〜8月】

ユーコミス　　2016.8.1奈良井宿

ユーコミス —— 別名バイナップルリリー〈ユリ科ユーコミス属〉

中央アフリカ・南アフリカ原産の球根植物。高さ30〜150cm。葉はロゼット状に叢生、長さ40〜60cm、ふちは波打つ。花茎をのばして長い総状花序をつけ、上部に多数の小花をつける。小花は花弁6個、径2cm前後、花色は白色、淡い緑白色、淡い黄色、ピンクなど。花茎の頂点に葉状の苞葉が放射状につく。【58】【77】【79】

■学名Eucomis＝「美しい頭の毛」の意。【77】
■茎頂に放射状にたくさんつく葉の姿からバイナップルリリーの名がある。【77】
■和名ホシオモト（星万年青）。【77】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーコミス						○						

【花期 7～8月】

トルコギキョウ　　2021.8.14

トルコギキョウ ―― 〈リンドウ科トルコギキョウ属〉

アメリカのテキサスやネブラスカ原産。昭和10年に渡来。切り花用に栽培され園芸上の一年草。茎は細く直立。高さ30～60cm。葉は対生。花はカップ状で切れ込む。500を超える品種の7割は日本の品種が占める。花色は淡い紫色で中心が濃い紫色、白色、桃色など。八重咲き、フリル咲き、バラ咲きと花型も多彩。【18】【25】

■名は、キキョウに似るから。【18】■トルコとは無縁。【25】
■学名 Eustoma（ユーストマ）。【ウィキペディア】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
トルコギキョウ						●						

【花期 7〜10月】

ユーパトリウム　　2015.9.28須坂

ユーパトリウム ―― 〈キク科ヒヨドリバナ属〉

北アメリカ中部〜東南部、東インド諸島原産。高さ50〜100cm。花茎を長くのばしてアザミを小さくしたような花をまとめて咲かせる、花色は青紫色や白色。【77】【84】

■学名Conoclinum（コノクリニウム）。【77】■フジバカマと同じユーパトリウム属に入れられていたが、現在は別種のコノクリニウム属。しかし昔の名残で現在でも旧属名のユーパトリウムで通っている。【77】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーパトリウム												

【花期 7〜10月】

2015.9.22茶臼山植物園

ユーパトリウム・ルゴスム　　2015.9.22茶臼山植物園

ユーパトリウム・ルゴスム ―― 〈キク科アゲラティナ属〉

アメリカ中部〜東部原産の多年草。高さ50〜150cm.。昭和初期に帰化が確認され、現在では各地に広がる。葉は対生、長柄、葉身は卵形、濃緑色、ふちに鋸歯。散房花序に白色の頭花をつける、頭花は筒状花が14個以上、舌状花はない。【58】【77】【ウィキペディア】

■学名Eupatorium rugosum。【58】
■別名マルバフジバカマ（丸葉藤袴）。【58】
■アゲラティナ属。【ウィキペディナ】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーパロリウム・ルゴスム							○					

【花期 3〜5月】

ユーフォルビア・カラキアス　　2015.5.14小諸

ユーフォルビア・カラキアス ―― 〈トウダイグサ科トウダイグサ属〉

ヨーロッパの地中海沿岸に分布。高さ80〜120cm。葉は青緑色、狭い披針形、長さ10cm。茎の杯状花序に、黄緑色の花を咲かせる、花径は7〜10mm。【58】【84】

■学名はEuphorbia characias。【58】
■異なる地域に見られる2個の亜種がある。アラキアス亜種はポルオガルからクレタ島に、ウルフェニイ亜種は南フランスから小アジアに生息。【58】
■花弁のように見えるのは、苞。【84】
■変異種や改良品種がたくさんある。【84】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーフォルビア・カラキアス			●									

【花期 4〜5月】

ユーフォルビア・ブラックパール　2016.5.19長野／下2020.5.18長野

ユーフォルビア・カラキアス・ブラックパール ―― 〈トウダイグサ科〉

ヨーロッパ原産の耐寒性多年草。高さ60〜120cm。花は黒褐色、苞葉は緑色。【86】【93】

- 学名Euphorbia characias 'black pearl'。【86】
- ロックガーデンや屋上緑化などさまざまな用途がある。【86】
- 欧米で人気は高く、多くの有名なガーデンに使用されている。【86】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーフォルビア・カラキアス・ブラックパール		●	◐									

【花期 4〜8月】

花　苞葉　　2011.5.21白馬

マツバトウダイ　　2014.5.19小布施

マツバトウダイ　松葉灯台〈トウダイグサ科トウダイグサ属〉

ヨーロッパ原産。多年草。這うようにしてマット状に広がる。高さ20〜40cm。葉は細長い、濃緑色、全縁。枝先に散形状の花序をつける。苞葉は緑色〜黄色、腎臓形、花の周りをカップ状に包む。【58】【89】

■学名は、Euphorbia cyparissias（ユーフォルビア・キパリッシアス）。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
マツバトウダイ			●									

【花期 春〜晩秋】

ユーフォルビア・ダイアモンドスター　　2016.5.25奈良井宿

ユーフォルビア・ダイアモンドスター ——〈トウダイグサ科ユーフォルビア属〉

メキシコ原産の八重咲きユーフォルビア。多年草。高さ約30cm。苞は純白。【93】

■夏の暑さに強い。【93】
■草丈がのびにくく、こんもりとまとまりがよい。【93】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーフォッルビア・ダイアモンドスター			●									

【花期 春～晩秋】

花　苞葉　■■■【■】　2015.11.1長野

ユウフォルビア・ダイアモンドフロスト　2014.9.18アルプスあづみの公園

ユーフォルビア・ダイアモンドフロスト ―〈トウダイグサ科トウダイグサ属〉

北アメリカやメキシコが原産の一年草。根元からよく分枝、ボール状に茂る。高さ20～45cm。葉は対生、長楕円形～楕円形、長さ約3cm。開花期間が長く、春～晩秋まで咲き続ける、花弁状の苞は白色または薄桃色。【78】【84】

■学名ruphorbia hypericifolia（ユーフォルビア・ヒペリキフォリア）。【78】
■有毒。【78】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユ・ダイアモンフォフロスト							●	●	●			

【花期 3〜8月】

花　　2017.5.2千曲

ユーフォルビア・マル　ティニー　　2017.5.2千曲

ユーフォルビア・マルティニー ——〈トウダイグサ科トウダイグサ属〉

ヨーロッパ原産種の種間交雑種。耐寒性常緑多年草。地際から株立ち。茎は赤い。高さ40〜80cm。葉は螺旋状に互生、披針形〜楕円形、緑色。茎頂に杯状花序をたくさんつける。花は赤褐色、苞は黄緑色、花弁のように見える。【84】【96】

■学名Euphorbia x martinii。【84】
■別名ユーフォルビア・マティーニ。【84】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーフォルビア・マルティーニ		○										

【花期 4〜7月】

2015.5.14小諸

ユーフォルビア・ミルシニテス　花　　2015.5.29小諸

ユーフォルビア・ミルシニテス ―― 〈トウダイグサ科トウダイグサ属〉

ヨーロッパの地中海沿岸からトルコ、イランにかけて分布。ロックガーデンなどに植栽される。茎は地面を這う。高さ35cm位。葉は輪生、卵形、先端は鋭く尖る。茎頂に杯状花序を出す。苞葉は黄緑色。【58】

■学名 Euphorbia myrsinites。【58】
■傷をつけたときに出る乳汁は皮膚をただれさせる。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユーフォルビア・ミルシニテス				●								

【花期 7〜10月】

花　管状花は中心に多数集まり黄色【7】【42】　2002.8.14信濃

ユウガギク　2002.9.27大町

ユウガギク　柚香菊　〈キク科ヨメナ属〉

山野に生える多年草。地下茎を長くのばして殖える。茎は直立、質は硬い、高さ30〜150cm。葉は互生、広披針形、下部の葉は長さ5〜7cm、羽状に浅〜深裂、質は薄い、両面に短毛、先端は尖り、基部はくさび形、無柄、上部の葉はしだいに小さくなり、花の近くでは苞状葉。枝先に頭花1個、径2.5cm、普通白色に近い淡紫色、舌状花は一列に並ぶ。果実はそう果。【3】【7】【18】【32】【42】

■名は、ユズ（柚子）の香りがある菊の意味という。【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユウガギク												

【花期 7〜9月】

ユウスゲ　品格のある花を次々にさかせる【3】　1998.7.14鬼無里／円内2010.7.27上田

ユウスゲ　夕菅　別名キスゲ〈ユリ科ワスレグサ属〉

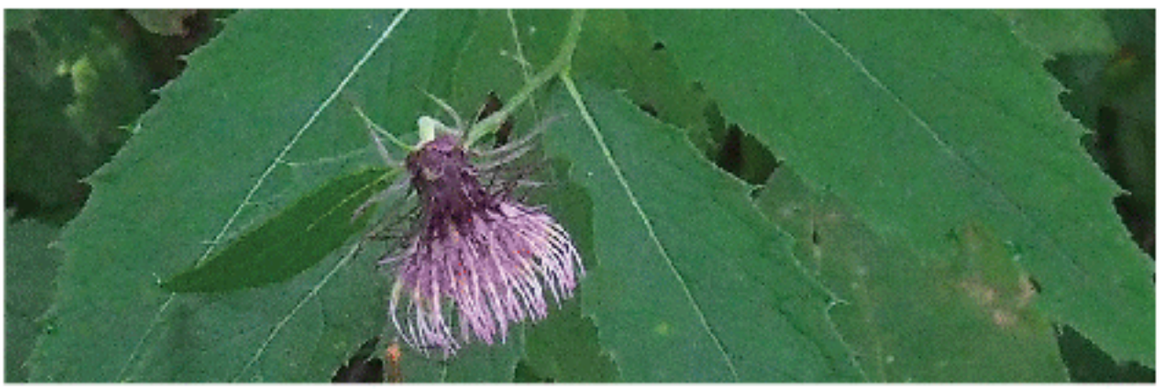
山地の草原や林のふちに生える多年草。葉は根元からほぼ2列に並んで出る、線形、長さ20〜80cm、幅5〜18cm。花茎直立、高さ1〜1.5m、先で分枝。花は淡黄色、長さ10cm内外、花被片6個、斜めに開く、雄しべ6個、花被片より短い、雌しべ1個、花被片より長い。果実はさく果。【3】【18】【32】【42】

■名は、夕方開き、翌日午前中に閉じるから。【18】
■開花直後、強く香る。【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユウスゲ					●	●						

【花期 8〜9月】

ユキヤナギ　　2016.9.3上高地



花　葉の鋸歯　　2016.9.3上高地

ユキアザミ 雪薊〈キク科アザミ属〉

深山の明るい林内や林のふちに生える多年草。茎は直立、刺はない、上部で分枝。高さ1〜1.5m。葉は互生、長楕円状披針形、大きなもので長さ25〜30cm、切れ込みはほとんどない、あっても浅裂、ふちに鋸歯があることが多い、葉裏に白毛が密生する。花は枝先に横向き〜やや下向き、径約3cm、淡い紅紫色、総苞片は5〜6列、長い、反り返る。[33][108]

■乗鞍周辺に多い。[108]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキヤナギ							●					

【花期 5〜7月】

ユキザサ　花序と花柄に毛が多い【42】　1998.6.11鬼無里

ユキザサの両性花　2004.5.15軽井沢

ヒロハユキザサ　雄花　2000.6.8鬼無里

果実　1999.10.16戸隠

ユキザサ　雪笹〈ユリ科ユキザサ属〉

山地の林内に生える多年草。茎は直立、上部斜上、20〜70cm。葉は2列に互生、卵状長楕円形または広楕円形、長さ6〜15cm、幅2〜5cm。茎先の円錐花序に白い小さな両性花、花柱1mm足らず、先は僅かに3裂。果実は液果、球形、赤く熟す。【3】【18】【32】

■名は、白い花を雪に、葉をササに例えたもの。【3】

■ヒロハユキザサ（ミドリユキザサ）は、深山に生え、高さ45〜70cm。葉は長楕円形で長さ7〜20cm、幅2.5〜8cm。花は雌雄異株。花序にほとんど毛がない。雌花は3裂した柱頭の裂片が長くて反り返る。雄花は緑色を帯びる特徴あり。【3】

■オオバユキザサも雌雄異株。花序に短い軟毛、雌しべ柱頭3深裂。【3】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキザサ　含ヒロハユキザサ						雌雄異部開						

【花期 4～6月】常緑低木

ユキツバキ　花弁はヤブツバキより細くて薄い【4】　1999.6.8小谷

花　1999.6.8小谷

ユキツバキ　雪椿　〈ツバキ科ツバキ属〉

主に日本海側の積雪地に多く生え、雪につぶされて高さ1～2m、長さ3～5m。葉は互生、長さ6～12cm、楕円形か卵状楕円形、強い光沢がある、葉柄は有毛。花は濃紅色、一重咲き、長さ2.5～4cm、花弁5～9個、平開、花糸は黄色、葯は濃紅色、花柱2～5裂。果実はさく果、球形、径2.5cm。白花や八重品種あり。【4】【18】【37】

■名は、多雪地に咲くツバキ。ツバキは厚葉木(あつばき)、艶葉木(つやばき)からの転訛と言われる。【2】　■ヤブツバキと分布域が接近するところでは、中間型ユキバタツバキ(雪端椿)がある。【4】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキツバキ		●		●								

【花期 5〜6月】

ユキノシタ　庭に栽培されたものが多い【32】　2005.6.7富士見

花　下の2弁は大きい【32】20025.20長野

花茎に腺毛密生【32】　2002.5.20長野

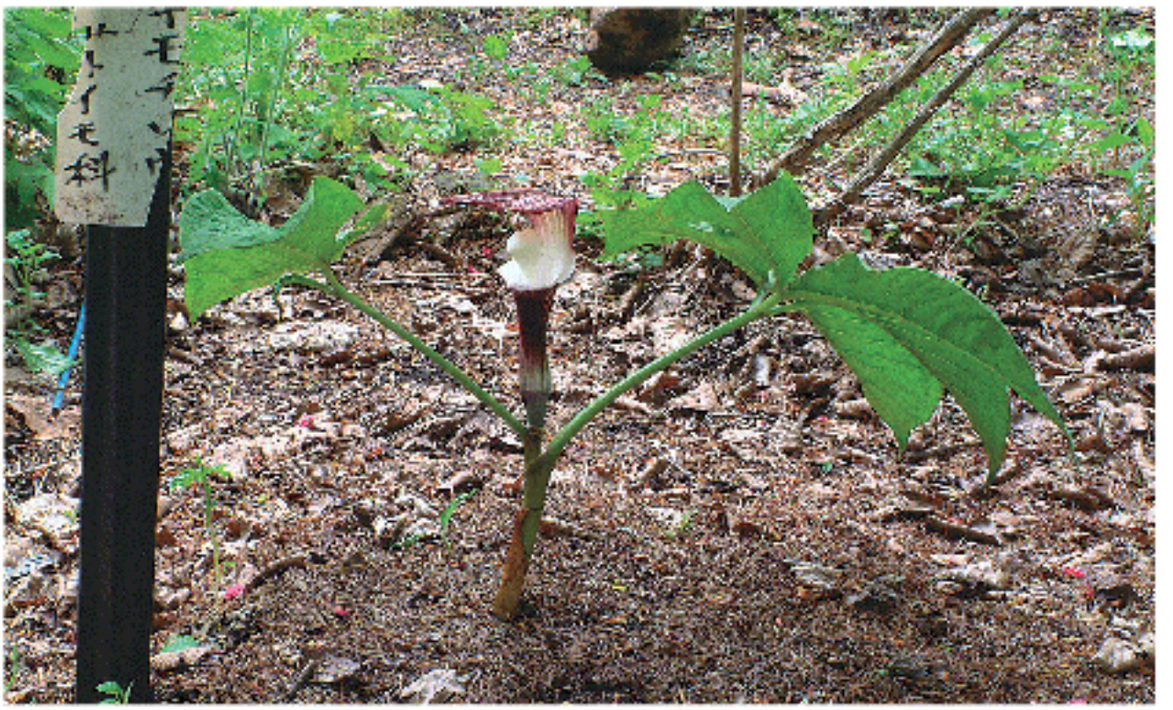
ユキノシタ　雪の下　〈ユキノシタ科ユキノシタ属〉

湿った岩の上や地上に生える多年草。種子は出来ず、地上に匍匐枝をのばして新株をつくる。根生葉は円形〜腎臓形、掌状浅裂、暗緑色、ふちに重鋸歯、長柄。花茎を高さ20〜50cmにのばし、円錐状に多数の花、萼5深裂、花弁5個、上の3個は小さい、濃紅色の斑紋、雄しべ10個、花柱2裂。【3】【5】【18】【25】【32】【42】

■白い花を雪にたとえ、その下に緑の葉がみえるのを表現したものであろう。【18】■白い舌状の花弁に基づき「雪の舌」か。【25】■漢名虎耳草（こじそう）。斑（まだら）のある有毛の丸葉に因む。【25】■民間では生葉を搾り、幼児のひきつけや火傷の治療に。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキノシタ												

【花期 4～6月】



ユキモチソウ　　2002.5.22軽井沢

筒部口辺部と付属体　　2003.5.15飯山

ユキモチソウ　雪餅草〈サトイモ科テンナンショウ属〉

山地の林下に生える多年草。偽茎は5～30cm、緑色で下部は紅色を帯びる。葉は2枚、小葉楕円形、3～5枚を鳥足状。葉の間に1個の肉穂花序を出す。仏炎苞は紫褐色、内側は緑白色から黄白色、外側に白い筋がある。筒部は口辺部で急に広がり、舷部は直立して先端は内に巻き、尖る。付属体は白色、こん棒状、先端が丸く膨れる。[3][42]

■名は、付属体の頭部が球形で白く、多少やわらかいので餅に例えたもの。[3]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキモチソウ			○									

ユキヤナギ　庭や公園によく植えられている【4】　2004.4.12長野（植栽）

花　2004.4.14高山（植栽）

紅葉　2014.11.27善光寺

ユキヤナギ　雪柳　別名コゴメバナ〈バラ科シモツケ属〉

川岸の岩場などに生え、高さ1〜3mで株立ち状。葉は互生、狭披針形、長さ2〜4.5cm、先は尖り、ふちに鋭い鋸歯。新葉と同時に白い小花が2〜7個固まってつく、径0.8〜1cm、萼片5個、広卵形、花弁5個、倒卵形、平開、雄しべ20個内外、雌しべ5個。【4】【18】【37】

■名は、葉がヤナギ（柳）のようで、多数の雪白の小花をつけるから。【18】

葉／2004.4.14高山

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキヤナギ	○	○	○									

【花期 5〜7月】

ユキワリソウ　花冠の喉部は黄色【15】　2005.7.18白馬八方尾根

ユキワリソウ 雪割草〈サクラソウ科サクラソウ属〉

高山帯の湿った岩場に生える多年草。葉は根生、広倒披針形、長さ3〜10cm、幅1〜1.5cm、下部は柄となる、ふちはやや裏に曲がり、鈍鋸歯がある、表面には皺、無毛、裏面は黄白色の粉に被われる。花茎を7〜15cmほど延し、淡紅色の花を3〜10個散形状、萼5裂、花冠径1〜15cm、5裂、裂片はさらに2裂、平開、雄しべ5個、雌しべ1個。果実はさく果、短い円柱形。【3】【15】【18】【32】【35】【42】

■雪融け直後に開花するので、雪割草。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキワリソウ				●	●●							

【花期 月】

ミスミソウ　2002.3.15小布施

スハマソウ　2004.3.14小布施

ユキワリソウ　2003.3.30善光寺

ユキワリソウ　2003.3.30善光寺

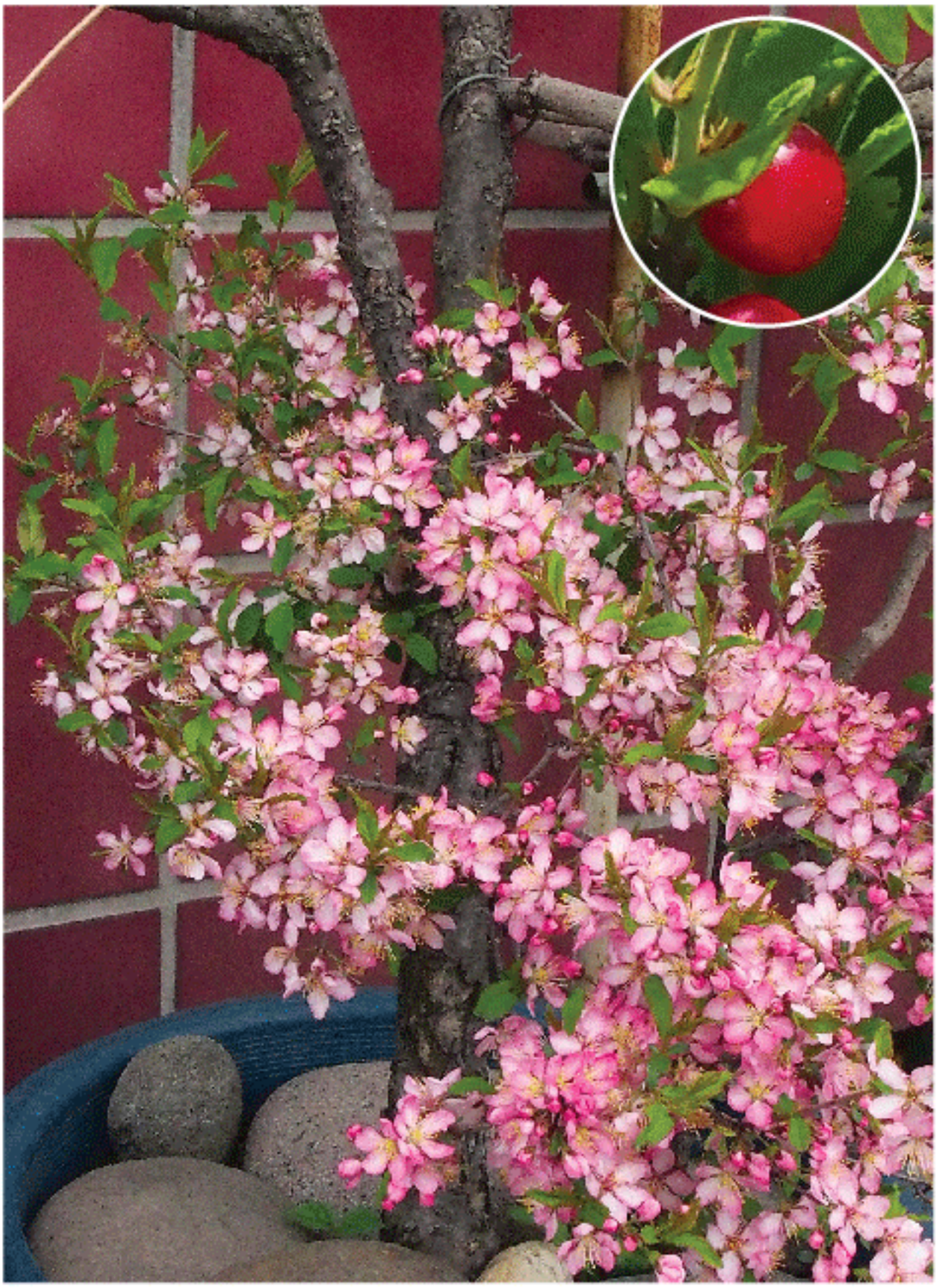
ユキワリソウ　2003.3.30善光寺

ユキワリソウ 雪割草〈キンポウゲ科ミズミソウ属〉

■俗名で「雪割草」と呼ぶ日本産の一群は、葉の裂片先端が鋭く尖り、花色が白で、本州中部以南に分布するミスミソウ、裂片先端が尖らず、花色に変化があり、本州中部以北に分布するスハマソウ、花や葉が大きく、変化に富み、本州中部日本海側に分布するオオミスミソウ、葉の表面に毛が生え、染色体が四倍体で、長野県から四国にかけて帯状に分布するケミスミソウの4種類が知られている。そして、近年園芸界で発表している「雪割草の花形、花色などの変異咲き品種」は、オオミスミソウとみなされる個体群の中に含まれるものが多い。【74】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユキワリソウ	●	●										

【花期 3～4月】落葉低木



ユスラウメ　円内実　　2017.4.20千曲／円内2017.7.6千曲

ユスラウメ ゆすら梅・梅桃〈バラ科サクラ属〉

中国原産。古い時代に渡来。よく分枝。高さ1～3m。葉は互生、倒卵形、長さ4～7cm、ふちに細かい鋸歯。花は葉と同時かまたは早い、花弁5個、径1.5～2cm、倒卵形、白色または淡い紅色、雄しべ多数。果実は核果、ほぼ球形、径約1cm、表面に微毛、6月頃赤く熟す、食べられる。【4】【18】【58】【77】【84】

■中国名は桜桃。ユスラウメの「ユスラ」は韓国語読みが転化したものだとか、揺すったら果実が落ちるからなど諸説がある。【77】
■果実は生食、果実酒、漢方薬として利用。【84】

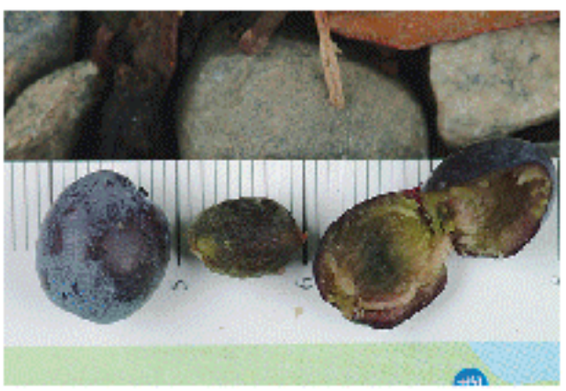
花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ウスラウメ		○										

【花期 4〜5月】常緑小高木〜高木

ユズリハ　葉側脈は16〜19対、葉柄は紅色を帯びることが多い【4】　2003.10.20善光寺

雄花序　雄花の蕾　2004.4.22善光寺

雌花序　朱色は花柱　2022.5.8長野



実　種子（中央）1目盛1mm

ユズリハ　譲葉〈トウダイグサ科ユズリハ属〉

暖地の山地に自生し、庭などに植栽される。高さ4〜10m。葉は互生、枝先に集まり輪生状、狭長楕円形、長さ15〜20cm、先は急に尖る、全縁、革質、表面は光沢ある深緑色、裏面は白っぽい。雌雄異株。総状花序に緑黄色の花、雄花・雌花とも萼と花弁がない、雄花に雄しべ7〜8個、雌花に退化した雄しべ7〜8個、子房は卵形、花柱2個。果実は核果、藍黒色に熟す。【4】【18】【37】

■名は、若葉がのびてから古い葉が落ちるので。【4】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユズリハ			●									

【花期 5〜6月・10〜11月】常緑低木

アツバキミガヨラン　ふつう「ユッカ」といえば本種【58】　2002.6.1長野

アツバキミガヨラン　厚葉君が代蘭　〈リュウゼツラン科イトラン属〉

北アメリカ南部原産。明治中期に渡来。葉は茎頂に多数束生、長剣状、長さ60〜80cm、厚い革質、先端は尖る。高さ1〜2mの花茎をのばし、円錐花序をつける。花は鐘形、径5〜6cm、下向き、花被片6個、白色、秋の花は淡紅紫色を帯びる。日本では結実しない。別名アメリカキミガヨラン。【4】【18】【37】【48】【49】【58】

■名は、キミガヨランに比べ葉が肉厚であるから。【18】■（アメリカでは）「主なる神の蝋燭（Our load's candle）」と呼ばれていて、それがキミガヨランの名前のもとになったそうだ。【58】■キミガヨランの名はラテン語の学名gloriosa（栄光ある）に因んだ。【48】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
アツバキミガヨラン				○	○○							

ユリ園　2006.8.3白馬岩岳ゆりの里

ササユリ　2004.6.23伊那

コオニユリ　2003.8.13霧ヶ峰

ウバユリ　2002.7.27戸隠

ヤマユリ　2005.81上田

ユリ 百合〈ユリ科ユリ属〉

㋐ユリ科ユリ属の多年草の総称。温帯を中心に分布し、カノコユリ、オニユリ、ヤマユリ、テッポウユリ、スカシユリなど園芸用に栽培されるものも多い。鱗茎が食用になるものもある。葉は線形などで、平行脈が走る。夏、白・黄・橙色などの大形の六弁花を開く。㋑ユリ科に分類される単子葉植物の総称。主に草本で、球茎をもつ。花被は内外3個ずつあり、いわゆる萼はない。いくつかの亜種に分けられ、ユリ亜科にはユリ属のほかカタクリ、チューリップ、アマナなどの属も含まれる。[5]

【花期 10〜5月】常緑小低木

ユリオプスデージー　　2015.11.4須坂

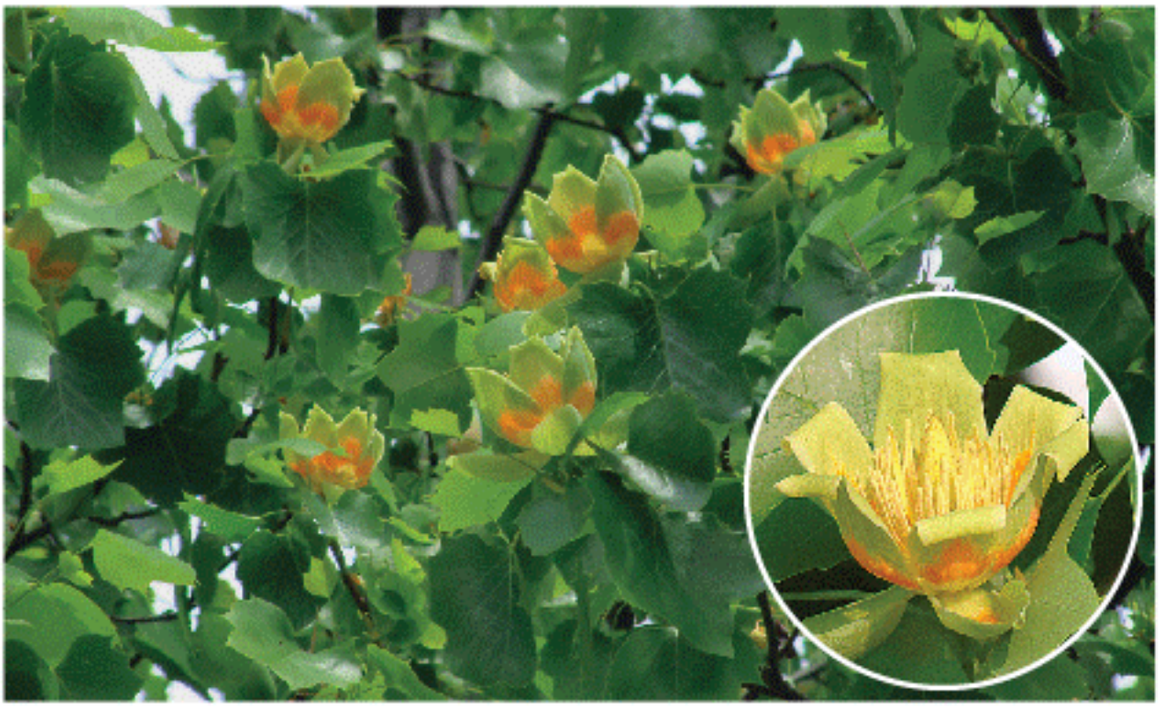
ユリオプスデージー ——〈キク科ユリオプス属〉

南アフリカ原産。よく分枝。高さ60〜150cm。葉は羽状に深く切れ込む、表面に白毛が生え、灰白色に見える。枝先に長い花柄をのばす。頭花は一重、鮮やかな黄色、径3〜4cm。【58】【77】【84】

■学名Euryops pectinatus。【58】
■ユリオプスはギリシャ語で「巨大な目」。花の形から。【84】
■小さい淵は草花のような姿だが、歳を経ると茎は大きくなって、表面がごつごつした樹木らしい姿になる。【77】
■代表的な園芸品種に八重咲き種の「ティアラ・ミキ」がある。【77】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユリオプスデージー									●			

【花期 5〜6月】落葉高木



ユリノキ　花はチューリップに似る【4】　2002.5.18長野／円内2003.5.24長野

黄葉　2014.10.25小諸

樹形　2002.11.11長野

果実　2002.10.27長野

ユリノキ　百合の木　別名ハンテンボク〈モクレン科モクレン属〉

北米原産。明治初期に渡来。幹は直立して分枝、高さ20〜30m。葉は互生、長柄、半纏に似た形、長さ6〜15cm、ふちは2〜4裂。枝先に緑黄色の花、径5〜6cm、萼片3個、淡緑色、反り返る、花弁6個、基部に橙赤色の斑紋、雄しべ多数、葯は長さ2cm位。果実は翼果がつまった集合果。【4】【18】【37】【4】

■上向きに咲く小さいカップ形の花から、英名はチューリップツリー(Tulip-tree)。日本ではユリに例える。【25】■葉が奴凧や軍配の様にも見えるので、ヤッコダコノキ、グンバイノキとも言う。【4】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユリノキ												

【花期 3〜5月】

ユリワサビ　2003.5.16戸隠

花　花は有柄、萼片は楕円形、花弁は広いへら形【3】　2003.5.16戸隠

根生葉　2003.5.16戸隠

茎葉　2003.5.16戸隠

ユリワサビ　百合山葵〈アブラナ科ワサビ属〉

山地の谷沿いや湿気の多い林の中にはえる多年草。高さ10〜30cm。全体に無毛。噛むとワサビに似た辛味がある。根生葉は長柄、葉身はほぼ円形、長さ幅とも2〜5cm、基部は心形、ふちに波状の鋸歯、茎葉は互生、卵形、ふちに鈍鋸歯。花茎を数個立て、白色の十字状花を10個内外つける、萼片4個、花弁4個、長さ5〜7mm、雄しべ6個、雌しべ1個。果実は長角果。【3】【18】【32】【42】

■名は、根茎が秋にはユリの鱗茎のようになり、香辛がワサビと同じゆえ。【2】【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ユリワサビ			●●●●									